

観光情報

果物狩り

かすみがうら市の果樹園では、一年を通して果物狩りができます。ご家族みなで是非お越しください。くだもの狩りの時期についてはホームページをご覧ください。

梨（なし） 8月中旬から10月下旬まで



みずみずしくて甘いフルーツの王様。かすみがうら市は、百年以上前から梨が栽培され、県内でも指折りの梨栽培の地域です。

栗（くり） 9月上旬から10月下旬まで



かすみがうら市産の栗は、ふっくらとして大きく、そして甘味のある栗です。特に、生産量は県内随一。煮てよし、ゆでてよし、焼いてよし。胃腸を丈夫にしたり、血液の流れをよくしたりする効果があるといわれています。

ぶどう 8月中旬から10月中旬頃まで



かすみがうら市では、主に巨峰が栽培されています。大粒で香りがよくて甘い、三拍子そろった巨峰。果皮離れがよく、食べやすいので多くの世代に人気のぶどうです。

柿（かき） 9月上旬から11月下旬まで



ビタミンがいっぱい入って栄養満点です。特にビタミンA・B・Cを多く含んでいます。また、柿の含む成分には利尿作用があるため、「二日酔いにいい」といわれます。

ブルーベリー 6月中旬から8月中旬まで



ジャムやジュースなどの加工品で有名なブルーベリー。そのブルーベリーを自分たちの手で摘み取ってみませんか。かすみがうら市では近年ブルーベリー栽培が始まり、多くの方たちに楽しんでいただいております。

帆引き船



霞ヶ浦の風物詩である帆引き船は、本市に生まれた折本良平氏によって考案され、明治13年に初めて霞ヶ浦に浮かびました。20人以上の人手が必要だった従来の漁法に比べ、一人で広い湖を乗り回し、自由に魚を捕れる帆引き網漁は画期的な漁法でした。昭和40年頃からトロール船に取って代われ、まもなく姿を消しましたが、霞ヶ浦漁業の歴史を知る上で極めて重要な文化的遺産であることから、昭和46年に観光帆引き船として復活させました。雄大な霞ヶ浦に白い帆を上げ、優雅に走る帆引き船をどうぞご覧ください。歩崎園地には、帆引き船発祥のまちを宣言した記念碑が設置されています。また、本市ではフォトコンテストや、帆引き船模型、絵ハガキの販売など、帆引き船にまつわるイベントも盛んです。



かすみがうら市観光協会

公園情報

雪入ふれあいの里公園



筑波山系の雪入山の地形を利用してつくられた公園。

山道を登ると鳥の池などがあり、鳥や小動物の生態を観察することができます。

また、ネイチャーセンターには森を模したジオラマ展示室や、立体映像で自然を学ぶことができる200インチスクリーン・ハイビジョンシアターがあります。



雪入ふれあいの里公園

歩崎公園



歩崎は水郷筑波国定公園の中でも有数の景勝地で、展望台から望む三叉沖の眺めは、茨城百景や茨城の自然100選のひとつに数えられています。公園内には、歴史博物館や水族館、あゆみ庵、民家園などとともに、台地に森林公園や湖岸園地が整備され、水辺と木々の緑が相まって絵のような光景が広がっています。また、観光帆引き船も操業され、観光スポットとして人気になっています。

所在地	かすみがうら市坂4784先
電話番号	029-840-9010（畔の駅 コハン）
交通	常磐道千代田石岡ICまたは土浦北ICから車で35分